

学校教育総合プラン実施計画・評価一覧 2023(令和5)~2026(令和8)年度

【逗子市立池子小学校】

項目	4年間を見据えた取組内容 (できるだけ具体的な内容で記載する)	項目別評価						総合評価				
		2023年度	重点目標	2024年度	重点目標	2025年度	重点目標	2026年度	重点目標	2023年度	2024年度	2025年度
教育環境の充実	① 学校安全の推進	【組織活動】学校安全計画・危機管理マニュアルを見直すサイクルの構築。研修・訓練の充実。 【安全管理】学校施設設備の安全点検と問題点への早期対応。地域との連携による通学路の安全確保。 【安全教育】自ら安全に行動したり、他の人や社会の安全のために貢献したりできる児童の育成。 【情報活用能力(情報モラルを含む)の育成】児童が6年間で体系的に学んでいけるようするためのカリキュラム作成。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	75%				
	② 教育情報化の推進	【教科等での指導におけるICTの活用】教員のICT活用指導能力の向上 【校務の情報化の推進】学校における校務の負担軽減を図り、よりよい教育を実現させるための推進	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	③ 地域との協働推進	現行の学校評議員会・地域教育協議会を、学校運営協議会へと発展させ、コミュニティ・スクールを核とした地域とともにある学校づくりを推進する。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	④ 学校評価を生かした学校づくり	・目標の達成状況や達成に向けた取組の適切さ等の評価を、学校としての組織的・継続的な改善につなげる。 ・自己評価及び外部評価の実施とその結果の公表・説明により、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進める。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
柱Ⅰ 学習指導の充実	① 授業改善の推進	・一人ひとりの教員が、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組む。 ・「ともにつくる夢あふれる未来～『この子』にとって意味ある授業づくりを通して～」をテーマに、授業改善のための校内研究を推進する。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	69%				
	② 健康体力づくりの推進	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を分析し、児童の実態・課題を明らかにする。 ・児童の実態に応じた、運動習慣の確立を目指す取り組み、体力・運動能力の向上を目指す取り組み、生活習慣や食生活の改善を目指した取り組みを進める。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	③ 体験活動の充実	生命や自然を大切にしたい心や他を思いやる優しさ、社会性、規範意識などを育てるために、計画的且つ系統的に自然体験活動や集団宿泊体験、職場体験活動、奉仕体験活動、文化体験活動といった様々な体験活動を実施する。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	④ 今日の課題への取組	学習指導要領の内容に関連する範囲で、今日的な課題を授業づくりの際に視点として取り入れていく。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
柱Ⅱ 支援の充実	① 支援環境の充実	【インクルーシブ教育の推進】インクルーシブの視点からの授業改善に取り組む。 【合理的配慮に基づいた教育】個別の教育的ニーズに応える指導を提供するよう努める。 【校内支援委員会の活性化】組織として支援教育に取り組む。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	75%				
	② 安心できる居場所づくりと絆づくりの推進	・市立小学校で最も面積の大きい校庭、ゆとりある教室配置、一学級当たりの児童の人数の少なさを活かして、「全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現」に向けた取り組みを展開する。 ・学校が、障害や国障言語等の違いに関わらず、共生社会を学ぶ場となるようにする。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	③ いじめ対策の推進	・本校策定の「いじめ防止基本方針」「いじめ発生時の対応基本マニュアル」に基づき、組織として取り組む。 ・いじめの問題についての教職員の共通理解と指導力の向上を図るために、事例研究やカウンセリング演習など実践的な内容を持った校内研修を積極的に実施する。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	④ 不登校対策・問題行動対策の推進	・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、外部相談機関と連携し、学校の相談窓口を充実させる。 ・リソースルームを開設して、教室での学びに違和感を覚える子どもたちの学びの場とする。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	⑤ 幼・保・小、小・小・中の連携推進	・幼児期と児童期をスムーズにつなぐスタートカリキュラムづくり・見直しに、継続的に取り組む。 ・幼稚園、保育園や市の療育・教育相談機関と連携して、就学前相談を充実させる。 ・円滑な中学校進学に向けて、必要に応じて児童の情報を中学校と共有していく。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
柱Ⅲ 学校組織の充実	① 学校・学年・学級経営の充実	学校の教育活動全般にわたって教職員が丸となった集団指導体制を意識し、学級運営に当たって生じた課題に対しても教員一人が対応するのではなく、学年または学校という組織で対応することを基本としていく。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	69%				
	② 研修・研究の充実	一人ひとりの教員が自ら学ぶ意欲を持ち続けることを期待し、外部からの講師を招聘する等、校内で教員が学ぶ機会を多く設定し、その内容を充実させていく。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	③ 信頼に基づいた指導の推進	・人格の発達についての一般的な傾向とその特徴についての客観的・専門的な知識を持つ。 ・児童一人ひとりを共感的に理解する。 ・人権尊重に基づいた学級経営や授業実践、児童指導を実践する。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	④ 働き方改革の推進	・「学校・教師が担う業務に係る3分類」に基づき、業務の適正化を図る。 ・授業時数や学校行事のあり方を見直しを継続して行う。 ・保護者、地域に対しては、理解を得られるよう丁寧な説明を継続して行っていく。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					

%は、Sを4、Aを3、Bを2、Cを1とし、計算した数値

評価基準 S・・・想定以上の顕著な成果が見られた(100%~91%程度) A・・・想定していた成果が見られた(90%~71%程度)
B・・・一定の成果が見られた(70%~31%程度) C・・・成果が見られなかった(30%~0%程度)